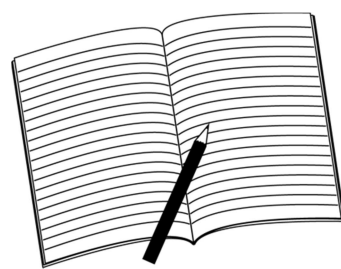


平成 25 年度受講生募集

一般市民を対象に開かれた学びの場として開講する「早稲田松代塾」。
下記の通り平成 25 年度の受講生を募集いたしますので、奮ってご応募ください。



早稲田大学・松代連携講座

早

稲

田

松^ま_つ

代^だ_い

塾

『近代日本の思想と文化』

(第 2 期) 連続 6 回 12 講座

講師 佐藤 能丸 氏 早稲田大学講師、博士（文学）

平成 21 年度のテーマ「近代日本の思想と文化（第 1 期）」は「人物編」でしたが、25 年度のテーマ「近代日本の思想と文化（第 2 期）」は、人物よりも出来事などの「事項」に重点を置き、幕末に米国の使節ペリーが来航してから「大日本帝国憲法」が制定され、日本が近代国家としての機構と制度を確立するまでの、明治時代の前半期を扱います。政治・外交・思想・文化など明治前半期の社会を多方面から論じます。堅苦しそうな内容ですが、毎回資料を用意して、実際の講義そのものは平易なだけで漫談調で展開されそうです。

●日程：（開講時間は、午前の講義が午前 10 時 30 分～正午、午後の講義が午後 1 時 30 分～3 時）

第 23 回	25 年	5 月 12 日（日）	午前「米国使節ペリーの来航」	午後「『尊皇攘夷』の思想」
第 24 回		7 月 14 日（日）	午前「『明治維新』観の変遷」	午後「『文明開化』の『文明史観』」
第 25 回		9 月 8 日（日）	午前「『文明開化』の文化」	午後「『毒婦』の群れ」
第 26 回		11 月 24 日（日）	午前「『自由民権』の思想と運動」	午後「明治 14 年の政変」
第 27 回	26 年	1 月 12 日（日）	午前「『革命』から『改良』へ」	午後「日本軍隊の成立」
第 28 回		3 月 16 日（日）	午前「『大日本帝国憲法』の起草」	午後「『大日本帝国憲法体制』の確立」

●会場：早稲田大学松代セミナーハウス（ほくほく線まつだい駅下車：詳細は受講生に連絡します）

●受講料：1 回 500 円（資料代） ●定員：先着 60 人

●申込み：住所、氏名、電話・FAX 番号を明記のうえ、FAX または郵便で、
早稲田大学松代セミナーハウス（住所：〒942-1534 十日町市蒲生、FAX：025-597-2132）まで

●問合せ：松代早稲田協力会・木戸（TEL：045-316-2082）

【参考】これまでの「早稲田松代塾」

●平成 21 年度『近代日本の思想と文化（第 1 期）』（第 1 回～第 5 回） 講師：佐藤能丸氏 早稲田大学講師 博士（文学）

第 1 回「福澤諭吉」「大隈重信」 第 2 回「徳富蘇峰」「三宅雪嶺」 第 3 回「安部磯雄」「吉田東吾」
第 4 回「吉野作造」「古在豊子」 第 5 回「石橋湛山」「角田柳作」

●平成 22 年度『私たちにとってアジアとは何か－歴史地理の観点から』（第 6 回～第 10 回）

講師：福井重雅氏 早稲田大学名誉教授 博士（文学）、赤坂恒明氏 早稲田大学講師 博士（文学）

第 6 回「アジアとヨーロッパ」「オリエンとオクシデント」 第 7 回「東洋と西洋」「アジアの範囲と境界」
第 8 回「アジアとヨーロッパの出会い」「アジアからの衝撃（1）」 第 9 回「アジアからの衝撃（2）」「同（3）」
第 10 回「アジアは存在するか」「歴史とは何か」

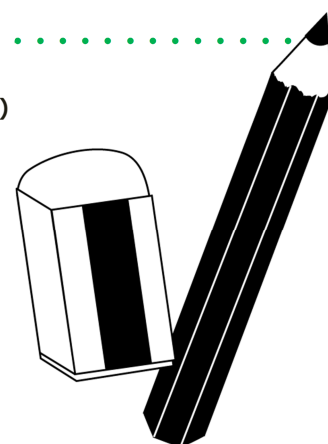
●平成 23 年度『日本古代史の謎に迫る』（第 11 回～第 16 回） 講師：松尾光氏 早稲田大学講師 博士（史学）

第 11 回「神武東征神話と邪馬台国の進出」「仏教導入の背景にある大王家と蘇我氏の思惑」
第 12 回「『聖徳太子』像を創ったのは誰だったのか」「茨田衫子にみる古代人の感覚」
第 13 回「『大化改新はなかった』という説が消えた背景」「大藤原京から平城京への遷都の理由」
第 14 回「元正女帝の即位の背景にある政界裏面の真相」「藤原仲麻呂の出世にみる官人の昇進制度」
第 15 回「淳仁天皇の後は誰なのか」「遣唐使は対等儀礼の国書を奉呈できたのか」
第 16 回「鑑真のもたらした戒律はなぜ尊ばれなかったのか」「天平文化から国風文化へ」

●平成 24 年度『国際問題と日本の外交』（第 17 回～第 22 回）

講師：片岡貞治氏 早稲田大学教授、早稲田大学国際戦略研究所所長 博士（政治学）

第 17 回「日本を巡る国際情勢 2012」「世界債務危機」 第 18 回「アラブの春」「同（2）」
第 19 回「アラブの春（3）」「同（4）」 第 20 回「日本の領土問題：尖閣諸島」「同：竹島」
第 21 回「日露関係」「TPP」 第 22 回「日中関係」「日米関係」
追加講座「日本を取り巻く外交安全保障環境」



主催：
協力：
早稲田大学
松代早稲田協力会

